

栄誉の受章・表彰者

各分野で功績が認められ、受章及び表彰を授けられた皆さんをご紹介します。

旭日双光章 受章

楠元 忠洋 さん
(鵜野野自治会)

平成15年4月に旧田代町の議会議員に当選し、合併後を含む平成20年12月までの5年8か月間、議



会運営の発展や農業の近代化、観光行政に尽力されました。また、平成21年12月に錦江町長に就任し、平成29年12月までの8年にわたり地域住民の福祉向上及び町政の発展に大きく貢献されました。

令和5年春の叙勲を3名が受章

令和5年春の叙勲で、錦江町では楠元忠洋さん、徳永幹子さん、永田幹朗さんの3名が受章しました。受章名や功績については以下のとおりです。

瑞宝双光章 受章

徳永 幹子 さん
(神川中自治会)



平成7年10月に法務大臣から保護司の委嘱を受け、現在に至るまでの27年間、地域の更生保護活動や犯罪及び非行の予防活動に貢献されました。現在も保護司を続けながら、家庭裁判所の調停委員を7年にわたり務められ、家庭内外の困りごとを解決するために尽力されるなど、多方面でも活躍されています。

瑞宝単光章 受章

永田 幹朗 さん
(神川城自治会)



昭和50年1月に大根占町消防団団員を拝命以来、令和4年3月までの47年間、団員の育成や防災思想の普及に尽力されました。また、平成28年4月に錦江町消防団神川分団団長に就任し、6年にわたり分団長として、その指導力を発揮しながら、今日に見る民主消防の建設と消防団の発展に貢献されました。

県陸上競技協会 審判員功労者表彰を受賞

岩崎 末文 さん

岩崎さんは77歳となった現在も週に2回はランニングを続けられています。



33年間にわたり審判員を務められ、陸上競技の普及振興に尽力し、多大な貢献をされたとして岩崎末文さんが、7月16日に鹿児島県陸上競技協会から審判員功労者表彰を受賞しました。高校時代には鹿児島県下一周駅伝、社会人ではニューイヤースタ伝(全日本実業団対抗駅伝)に出走するなど選手としても素晴らしい活躍をされました。

無事故無違反を表彰

椅山 光雄 さん、福園 弘一 さん

7月18日、無事故無違反を10年以上継続し、安全運転に努めたとして椅山光雄さんと福園弘一さんに鹿児島県交通安全協会から表彰状が授与されました。当日は錦江町交通安全協会が夏の交通安全防止運動に合わせ、キャンペーンを実施し、のぼり旗を手に安全運転の呼びかけを行いました。



若い経営者の主張大会 最優秀賞 大山 創央 さん

7月22日、鹿児島県商工会連合会及び同青年部連合会が始良市で開催した「第48回若い経営者の主張」で県内8地区の代表者の中から錦江町商工会青年部の大山創央さんが最優秀賞に輝きました。大山さんは9月13日に宮崎県で行われる九州大会に県代表として出場。錦江町商工会青年部で九州大会へ出場するのは、町が合併して以来、初の快挙となります。



主張では、青年部の部員数を5人から14人に増やした取り組みを発表した大山さん(左から2番目)



椅山光雄さんは昭和44年10月から53年間、無事故無違反を継続。



福園弘一さんは平成21年12月から13年間、無事故無違反を継続。